



2015 紀の国 わがやま大会
第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

審判副委員長

上土谷 政高

戦評用紙

種 別	知的障害の部 (男子)	会 場	海南市総合体育館
-----	-------------	-----	----------

平成 27 年 10 月 25 日 日 曜日	第 2 日目
------------------------	--------

A	コート	第 6 試合
---	-----	--------

☐ 回戦	☐ 準決勝	☒ 交流試合	☐ 3位決定戦	☐ 決勝戦
-----------------------------	------------------------------	--	--------------------------------	------------------------------

◎試合結果

勝利チーム		25		—	19	
宮城県		30		—	28	
都道府県・市名				—		
2					0	
岐阜県					都道府県・市名	

【審判員】

主 審： 竝木 正明

副 審： 田中 麻美

記録員： 鈴川 健治

A・S： 小阪 博之 成瀬 秀樹

【戦 評】

記載者： 田村 泰造

1セット、宮城県は①WS大泉、②S鈴木のサーブが冴え、硬さが見える岐阜県を大きく引き離す。その後も、宮城県⑦早坂がスパイク、サーブに大活躍し、20-7と大きくリードする。しかし、岐阜県は②WS尾形、④田川が、切れのいいスパイクを連発し、徐々に差を縮める。しかし、反撃がわずかに遅く、宮城県⑨WS三澤、⑦WS早坂がスパイクを決め振り切った。

2セットは、1セットとは逆に岐阜県が⑩WS刈谷のサービスポイント、④MB田川のスパイクで10-5とリードするが、宮城県⑦WS早坂が連続スパイクを決め、チームを引っ張り中盤に迫っていく。

もう後が無い岐阜県は⑩WS刈谷のスパイク、②WS尾形のサーブポイントで引き離そうとするも、宮城県も①WS大泉、⑨WS三澤のスパイクで応酬し、デュースに突入した。

岐阜県⑥WS岩田が頑張りを見せ、振り切ろうとするが、宮城県も必死のブロックで対抗、最後は宮城県①WS大泉のスパイクが決まり、長いラリーの決着をつけた。